



能満山虚空蔵堂は大正4  
(1915)年に建立され、  
川場村内外に広く虚空蔵  
様の名で親しまれていま  
す。



# 田園理想郷 時代

No. 14  
2022.11.1

川場村議会広報

通巻第69号

9月定例会	2
決算審査特別委員会	3~4
補正予算審査特別委員会	5
一般質問	6~9
行政視察研修・議会の動き	10~11
ぼいす・編集後記	12



今回の注目

# 川場村職員の育児休業等に関する条例

令和4年9月定例会で、村長から提出された条例の一部改正2件、令和4年度補正予算6件、決算認定6件、その他1件が原案のとおり可決となりました。

## ■条例

- 川場村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例  
育児休業の取得回数制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間の拡大等に関して人事院規則等が改正されたことから川場村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するもの (全員賛成)
- 川場村放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例  
放課後児童クラブについて、指定管理を導入することで、より安定的な人材確保や支援員の資質向上、事務効率の改善を図り、更なる住民サービスの充実を目的として川場村放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部を改正するもの (全員賛成)

## ■補正予算

- 令和4年度川場村一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出それぞれ2億953万4千円を追加し、総額を41億8千491万1千円とするもの。主に新拠点整備事業、車両購入費、商品券交付事業等 (全員賛成)
- 令和4年度川場村国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出それぞれ2千276万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億5千85万9千円とするもの。主に保険給付費の不足を補うもの (全員賛成)

## ■報告

- 株式会社田園プラザ川場の経営状況に関する書類の提出
- 川場村土地開発公社の経営状況に関する書類の提出
- 株式会社ウッドビレジ川場の経営状況に関する書類の提出
- 川場村財政健全化判断比率報告書
- 川場村公営企業資金不足比率報告書

# 決算審査特別委員会

ここに掲載されている質疑は全体から抜粋した一部です。紙幅や読みやすさを考慮し、言い回しの調整などを行っています。

認定第1号  
令和3年度  
川場村一般会計  
歳入歳出決算

## ■歳入

- 【星野委員】 ふるさと寄付金の前年度比は。
- 【むらじゅくり振興課長】 約2千万円ほど増加しています。
- 【細谷委員】 道路使用料の収入未済

額の内訳は。  
【田園整備課長】 諸事情により2カ月に1度、納付して頂いております。今後2年ほどで完済見込みです。

## ■歳出

- 【新木委員】 里山塾養成・体験教室実施委託料の委託料が増加しているが内容は。
- 【むらじゅくり振興課長】 令和2年度は、コロナ対策のためほとんどの教室が中止になったため減額となりました。昨年度は、開催する回数も増え、中止となった回でも直前まで準備したりすることもあり、令和2年

のと、疾病予防事業等を行う経費

- 令和4年度川場村介護保険事業特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出それぞれ1千360万4千円を追加し、総額を5億810万5千円とするもの。主に国庫等への償還金に対応するもの (全員賛成)
- 令和4年度川場村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出それぞれ388万7千円を追加し、総額を9千939万6円とするもの (全員賛成)
- 令和4年度川場村水道事業特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出それぞれ67万4千円を追加し、総額を6千983万9千円とするもの。主な用途は、水道管理の維持補修工事 (全員賛成)
- 令和4年度川場村下水道事業特別会計補正予算(第1号)  
歳入歳出それぞれ302万1千円を追加し、総額を2億6千335万7千円とするもの。主な用途は、浄化センター維持修繕工事 (全員賛成)

## ■決算認定

- 令和3年度川場村一般会計歳入歳出決算の認定
- 令和3年度川場村国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- 令和3年度川場村介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- 令和3年度川場村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- 令和3年度川場村水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- 令和3年度川場村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

## ■その他

- 大字・字の区域の変更  
上宿原土地改良事業の施行に伴い、地区内の土地の区画及び形状を改めた結果、境界の変更が必要となったため変更するもの (全員賛成)

## 第6回議会 臨時会 10月4日(火)

令和4年10月臨時会で、村長から提出された財産の取得1件が原案のとおり可決となりました。

## ■財産の取得

- 動産(災害時給電可能車両)の取得  
コロナ禍での自然災害や大規模停電に備え、避難場所等での非常用電源の確保を目的に取得するもの (全員賛成)

9月8日(木)、決算審査特別委員会を特別委員会室において開催しました。黒田まり子委員長の進行により、令和3年度一般会計と5つの特別会計の決算が審査されました。長時間にわたって多数の質疑応答が行われた結果、全会一致で認定されました。

- 度に比べ増額となっております。
- 【新木委員】 新規市場開拓支援事業の内容は。
- 【むらじゅくり振興課長】 雪ほたかにおいて、廃棄物リサイクルの観点から、粉殻を圧縮し燃料化する機械を導入しました。
- 【新木委員】 妊婦健診について人数の内訳は。
- 【健康福祉課長】 対象者が22名おり1名当たり14回分のクーポンを配布しています。その内使用されたのが153件です。
- 【飯塚委員】 健康増進費における各種検診がありますが、受診率が低いように思うが。
- 【健康福祉課長】 受診率の向上につきましては、努力を重ねているところではありますが、中々結果に結びつきません。今後とも受診率向上に向け検討したいと思っております。
- 【新木委員】 小児生活習慣病予防健診・健康栄養調査の該当者がいた場合の対応は。
- 【健康福祉課長】 小学校5、6年生と中学校2、3年生を対象に調査しています。5名程度該当者がおり、面談等指導しています。
- 【黒田委員】 関連ですが、傾向と分析はしているか。

【健康福祉課長】 健診結果に基づき指導対象となられた方には指導を勧めたり、給食センターの栄養士に結果を渡していますので、献立に配慮して頂いていると思います。また、啓発用のチラシも配布しております。

【新木委員】 鳥獣捕獲奨励金の内訳は。

【むらじゅくり振興課長】 令和3年度は204頭、二ホンシカ、サル、イノシシ等です。

【津久井委員】 関連ですが、鳥獣害対策は非常に重要な政策と思うので予算科目を別で設けた方が良いと思うが。

【総務課長】 即答できませんので、検討させて頂きます。

【星野委員】 有害鳥獣対策事業、ICT（情報通信技術）導入の実績は。

【むらじゅくり振興課長】 有害鳥獣駆除において、捕獲現場で写真等を撮影してもらいます。スマホで撮影しますと位置情報が記録されます。導入実績の検証まで至っておりません。

【津久井委員】 観光施設修繕工事の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 主な内容として、田園プラザウッドデッキ整備工事ですが、ビルレストラン

の前になります。部分的に修繕を実施してきましたが、老朽化により部分修繕が困難となったため実施しました。そば処屋外テントですが、随時レンタルにより対応していましたが、購入し常設した方が経済的であるため設置しました。

【星野委員】 田園プラザは施設の建設から相当年月が経過しているが今後の修繕の計画は。

【むらじゅくり振興課長】 様々な修繕の必要がありますが、比較的大規模な修繕として浄化槽関係の修繕が必要となります。

【黒田委員長】 川場村観光協会業務委託料及び川場村観光誘客促進業務委託料の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 観光協会ですが、主な業務内容として、お客様に対する窓口対応、電話での対応、どんと焼き等イベント対応、会員53名の連絡調整、関係各機関との連携イベント対応、パンフレットの発行などです。

誘客促進業務ですが、ぐんま愛郷キャンペーン実施に伴うクーポン券配布に伴う業務委託です。商工会に委託しています。

【小菅委員】 関連ですが、観光協会の職員は存在するのか。

【むらじゅくり振興課長】 観光協会という組織が存在しますので、職員はいます。ピジターセンター内で勤務しておりますので、プラザの職員と混在はしています。業務においても混在しています。

【新木委員】 図書購入費の内訳の内訳は。

【教育委員会事務局長】 文系が41、社会一般233、スポーツ・健康101、資格・試験・ビジネス104、趣味・実用277、芸能・芸術57、哲学・宗教・歴史・地理32、社会科学・自然科学・医学・教育48、工業・工学・コンピュータ24、語学・辞典16、学習参考書13、一般図書1316、児童用図書1351です。

【津久井委員】 河川総務費が補正予算において更生減されているが理由は。

【田園整備課長】 薄根川における河川清掃委託において、当初予算計上額より安く契約できましたので、その差額分を更生減しました。

【新木委員】 吉祥寺ヒメコマツ保存事業委託費の内容は。

【教育委員会事務局長】 松食い虫による被害のため伐採を委託しました。群馬県指定の天然記念物から除外されます。

## 補正予算審査特別委員会

# 補正予算を集中審議

9月8日（木）、補正予算審査特別委員会を特別委員会室において開催しました。黒田まり子委員長の進行により、令和4年度一般会計補正予算（第3号）の審査が実施され、長時間にわたって多数の質疑応答が行われました。

### 令和4年度 一般会計 補正予算（第3号）

## 歳入

【星野委員】 川場ビル製造工場敷地使用料の積算根拠は。

【むらじゅくり振興課長】 田園プラザ内の施設と同額で664.8m×150円です。

【黒田委員長】 ぐんま緑の県民基金補助金において竹林整備を実施しているが、整備後の管理状況は。

【むらじゅくり振興課長】 基本的に所有者の責任において管理してもらいますが、1ヘクタール当たり10万円の補助制度を設けています。

## 歳出

【細谷委員】 スズメバチの巣駆除補助

金の内容は。

【総務課長】 駆除に要した費用の2分の1以内の額とし1万円を限度とするものです。

【星野委員】 地域おこし協力隊関係会議出席負担金の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 地域おこし協力隊がファシリテーター養成講座に出席するための経費です。

【角田委員】 個人情報取扱業務台帳整備業務委託料の内容は。

【総務課長】 令和5年4月1日より新たな個人情報保護法が適用されます。それに伴いWEB上で公開できるようにシステムを構築するものです。

【星野委員】 災害時給電可能車両購入費の内容は。

【総務課長】 庁用車両を7台入れ替えます。

【新木委員】 標準宅地時点修正鑑定委託料の内容は。

【住民課長】 3年に1度実施するもので、村内18カ所基準地を設け土地鑑定士に鑑定を委託するものです。

【小菅委員】 民生委員研修随員職員旅費の内容は。

【健康福祉課長】 民生委員の研修に随行するための旅費1名分です。

【星野委員】 景観保全型案内板整備工事の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 中野地区と生品地区の2カ所を予定しています。中野地区は既存の案内看板が腐食して危険なため交換します。生品地区は、村内数カ所に設置してあります集合看板と同じ看板を予定しています。

【飯塚委員】 商標登録手数料の内容は。

【田園整備課長】 安納手を使用した、ブランド干し芋「琥珀庵」です。村で導入を推進した経緯がありますので予算計上しています。

【小菅委員】 観光施設修繕工事の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 修繕が数カ所あり、中でも田園プラザミート工房の屋根が積雪により破損しました。保険の適用につきましては確認いたします。

【星野委員】 農道及び排水路等補修工事請負費の内容は。

【田園整備課長】 当初確保していた予算を、豪雨による復旧のため支出したことから補填計上です。

## 川場村議会 全員協議会

令和4年9月5日（月）に全員協議会を開催し、村長、副村長、教育長及び担当課長等出席の下、十分な検討・説明を受けました。

1. 大字・字の区域変更について
2. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
3. 利根沼田地域の一般廃棄物処理広域化について
4. 拠点整備財源計画について
5. 新拠点の進捗状況について
6. 川場村教育委員会事務事業点検評価報告書について
7. 村内におけるコロナ感染状況について
8. 川場村放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

【星野委員】 川場田園プラザ防災備品購入費の内容は。

【むらじゅくり振興課長】 インバーター付きの発電機、バルーン型照明3台、簡易トイレ3台等、田園プラザ内の防災倉庫へ設置を予定しています。

【黒田委員長】 小中一貫校開講準備委員退任記念品の内容は。

【教育委員会事務局長】 小中一貫校開校準備委員会を設置します。複数回委員会を開催しますが、委員さんに報酬等は支払いせんので、退任時に記念品を贈呈するものです。

【星野委員】 視察研修食糧費の内訳は。

【教育委員会事務局長】 長野県大田市美麻小中学校を視察予定です。視察を夕方まで実施しますので宿泊をします。その関係の食糧費20名分です。

【小菅委員】 備品購入費のスポーツ広場芝刈機の内容は。また、最近役場周辺のスポーツ施設の管理状況があまり芳しくないと思われるが。

【教育委員会事務局長】 現在村で所有しています芝刈機が故障し、修理不能となったことから購入するものです。

【むらじゅくり振興課長】 管理につきましては、管理者に指導を徹底したいと思えます。



# 高齢化、担い手不足による 土地改良の推進

**津久井議員** 本日は、このように多くの皆様をお迎えして一般質問ができることに大変緊張しており、心より感謝申し上げます。

この夏は、コロナ禍に猛暑、九州豪雨など報道されておりますが、我が村には大きな災害もなく、秋の収穫を迎えようとしています。

高齢化、農業の担い手不足は益々深刻化しており、未整備で耕作放棄地となり、猿、鹿、猪等の住みかになっている地区があり、土地改良の推進について伺います。

桑畑だった一帯の農地は、農道もなく狭小な圃場が入り組み40年以上も放置され、獣の住みかになっているので、整備し担い手農家の規模拡大につなげてほしいです。

## 村長

後継者を育成し、休耕されている農地も利用した

いと、地域及び後継者の意見が多ければ村としても土地改良を推進し整備をしていきたいと思えますが、後継者がいなければ同じことの繰り返しとなってしまいます。ぜひ後継者育成に議員皆様のご支援、ご協力を賜りたいと思います。

## 津久井議員

荒野を切り開き、土を盛り、山水を引いて先祖伝来の田畑を何代もかけ

僅かづつ整備し、家族を育み、命をつなげてきた大切な川場村の農地でもあります。高齢化し、先々何年も耕せないかもしれない。あるいは跡継ぎが農業を継承してくれないかもしれない不安もあります。しかし、そんなお荷物の農地でも現代に見合う、軽トラやトラクターが入れる田畑に生まれ変わらせ、皆で集落を維持し、人々の憩える環境域を守って、再び農業ができるよう願っています。

## 村長

圃場整備にしましては、地区、地権者等からの要望もなく、また2反、3反の水田となりますと、門前、天神地区は中山間地域で

ありますので、畦畔が大きくなり傾斜地での草刈り作業等の負担が増加となりますので、今現在再整備の考えはございません。ただし、用排水路に關しましては改修要望があり、毎年、群馬県小規模農村整備事業、多面的機能交付金等を利用し、積極的に整備を進め

ているところでありませう。今後も、住民の意見を尊重し、必要最小限の費用で最大限の効果が得られるよう努めてまいりたいと思えます。

## 津久井議員

ライスセンターは順調に稼働し、設置計画目標5千俵を超え、ブランド米「雪ほたか」として販売され、労力節減や機械投資が抑えられ、担い手農家の規模拡大につながって大きな成果を収めています。

門前、天神の土地改良が50年前多くの苦勞の結果、整備されました。勤めも厳しい時代。大区画に整備し、川場村の水田農業の先陣となって再整備されることを希望します。



## 村長

後継者を育成し、休耕されている農地も利用した



# 「人と動物が共生できる 豊かな社会」の実現に向けて

**黒田議員** 犬猫等の愛護動物の適正な飼育マナーの向上について、飼い主のいない猫対策について、動物愛護教育について、去勢・避妊手術費用の助成について伺います。

## 村長

犬猫等の愛護動物の適正な飼育マナーの向上ですが、近年、動物の不適正飼養に伴い動物が増えすぎて世話ができなくなる、多頭飼育崩壊が問題となり、本村においても悪臭や生活環境の悪化を招く地域のトラブルが発生しています。このような案件は、関係機関と協議の上、個別で対応しています。また、本年3月には飼育マナーの回覧をさせていただき、適正な飼養及び管理の呼びかけをしました。

飼い主のいない猫対策ですが、本村における保護状況は主に生まれ間もない子猫であり、年に数件ほど要請があり保護活動を行っています。子猫に関し

ては群馬県動物愛護センターが譲渡会を実施していますので動物愛護センターに送致しています。

また、令和2年度には飼い主のいない猫、いわゆる野良猫を保護したいという地域の方と動物愛護団体の橋渡しを行った結果、村内にぐんま地域猫活動地域1カ所が登録をされ、群馬県の支援を受けて避妊・去勢手術実施による繁殖制限や猫トイレ設置による、糞尿被害防止による住みよい地域づくりを実践されています。

動物愛護教育では、群馬県動物愛護管理推進計画にも明記され、動物と関わる上で必要なルールや、モラルを学ぶ場所として、こども園や小中学校の役割が重要です。学校を取り巻く環境も変化し、飼育や動物との触れ合い体験を通して命の貴さを伝えることが困難な状況となります。今後は、子どもも含め

村民に対し小さな命の大切さ、動物愛護と適正飼養について関心を持つ啓発活動に努めたいです。

去勢・避妊手術費用の助成は、犬猫の不妊・去勢手術費用の助成による支援のお願いとして、地域猫活動代表者から457名の署名された要望書をいただきました。要望内容については、飼い主の望まない犬及び猫の出生を減らし、殺処分ゼロという野良犬と野良猫の発生を防止するために避妊・去勢手術費用の助成支援もあります。県内

における助成の状況ですが、令和3年度末の時点で県内35市町村のうち犬猫ともに助成を行っている市町村は15市町村、猫のみを対象としている市町村が6市町あります。犬は、狂犬病予防法第4条により登録が義務づけられているため所有者が明確であることに対し、猫の登録は義務化されていないことにより、

所有者の判明しない猫の繁殖は地域の環境衛生問題として懸念されることから、群馬県が策定した飼い猫適正飼養及び飼い主のいない猫ガイドラインを基に、啓発活動を継続的に実施した上で検討していきたいと考えています。

## 黒田議員

公益財団どうぶつ基金では多頭飼育の救済支援があり、群馬県内で登録しているのは、沼田市を含め13の自治体が登録をしています。川場村の考えはどうですか。

## 村長

沼田市を含め利根沼田1市1町3村、近隣市町村へ担当課員を派遣し、情報収集に務め、川場村が後れを取らず近隣市町村と調整をしながら、適正に対処していきたいと思っています。

## 黒田議員

地域猫活動を実施する上で、県の玉村の動物センターに申請する必要があります。高齢化が進む中、村として支援をできないでしょうか。

## 村長

今後、要望事項が増加するようであれば、村としても考えていきたいと思っています。



# 小中一貫校 人口減少問題にも効果のある学校づくり

**星野議員** 未来の村づくりにおける一貫校の役割、一貫校の教育理念、特色ある学校づくり、一貫校の教育課程、生徒数増加に向けての取組、求められる教職員像についてお伺いします。

**村長** 小中一貫校に係る未来の村づくりにおける役割ですが、大きく次の3点を考えています。

1点目は、「川場村ふるさと人材」を育成するという役割であります。これは川場村小中一貫校基本構想の基本方針に掲げられているもので、9年間を通して指導の一貫性や学びの連続性、異学年交流の常態化などを重視しながら「川場村ふるさと人材」を育成することです。

「川場村ふるさと人材」とは、自らの力で村を支えていこうとする意欲や志を持つとともに、ふるさとに軸足あるいは心の重点を置きながら世界でも活躍

できる人材のことです。自分が生まれ育ったふるさとへ強い愛着と揺るぎない誇りを持つためには、ふるさとについて正しく理解するとともに地域において様々な活動を経験することが必要であり、こうした点において小中学校の9年間は極めて重要な時期であると考えます。

2点目としては、村民自身の幸福感を高める役割です。小中一貫校という新しい形態の学校をつくり上げていくためには、村民が本気で村の子どもを自分たちの力で育てようという強い気持ちを持ち、子どもたちの育成のために積極的に支援、協力したり、学校の教育活動に参加したりしていただく必要があります。

一方で、こうした活動は、村民にとっては一つの社会貢献となり、自らの幸福感を高めることにつながるものと考えています。その手始めに、昨年4月よ

り従来の学校評議員会に代えて学校運営協議会を立ち上げ、小中一貫校の在り方や目指す方向性など具体的な議論や協議を始めています。

また、今年度、登下校見守りボランティアの方々に登校の様子を見守っていただいています。さらに、プール清掃や水泳授業の見守り、読み聞かせや家庭科授業の補助、遠足の引率、月曜遊び場や水曜学び場、中学校未来塾、おもいつき探検隊など、これまでに延べ225人の方々に様々なご支援をいただいています。

3つ目として、村の希望の光としての役割であります。子どもたちが一生懸命に学んだり明るく元気に活動したり、多方面で活躍したりする姿は、大人に勇気や元気、大きな希望を与えてくれるものです。1年生から9年生までが共に学ぶ小中一貫校は、村の元気の源であり、村

を明るく照らす希望の光としての役割を果たしてくれるものと考えています。

**教育長** 一貫校の教育理念ですが、一言で言えば「川場村ふるさと人材」を育成することとなります。

少子化傾向は本村においても確実に進み、ピーク時の昭和37年度には466名いた中学生は、現在は80名を下回る状況です。さらに、昨年度生まれた子どもたちが中学校に入学する令和16年度には、中学校全体で40人台になると予想されます。そこで、自らの力で村を支え守る志を持ち、ふるさとに軸足や心の重点を置きながら世界でも活躍できるグローバル人材を意図的、計画的に育成することが今を生きる私たちに託された喫緊の課題であると考え、小中一貫校の教育理念を「川場村ふるさと人材」の育成と設定しました。

なお、「川場村ふるさと人材」に必要な資質として、次の3つを考えます。

1つ目は、自ら磨き高めた力や技を誰かの幸せのために使うことに喜びを感じることができ、2つ目は、川場村で生まれ育ったことを自信と誇り

にして生涯学び続けることができること、3つ目は、豊かなコミュニケーション力を駆使して良好な人間関係づくりができることです。

次に、特色ある学校づくりですが、「川場村ふるさと人材」を育成するためには、知識や技術の習得を中心としていた授業から、子どもが抱く疑問や課題の解決に向けて仲間と共に探究する活動を中心とする授業に変えていかなければならないと考えています。一方、外山村長の「小規模になっても教育の質を絶対に落とさない」という思いを実現することにもつながると考えます。

さらに、この事業を進めるためには、本村の特色である「ふれ合い学習」をはじめとする地域の方々の力が必要であり、多くの方々を巻き込んだ本村ならではの教育課程を編成したり、今年で2年目となるイングリッシュキャンプのように、ICTを最大限に活用した学びの場を広げることが必要で、そのことが特色に一層磨きをかけてくれるものと考えます。

次に、教育課程は小中一貫校準備委員会の専門部会において

両校長を中心に編成作業に入ります。9年間を貫く3つの柱や、1年生から4年生、5年生から7年生、8年生から9年生の3つの学年ブロックに分けること、5年生から50分授業とすること、教科担任制をできるだけ多くの学年、教科で取り入れること、異学年交流を設定することなどに留意しつつ、今後策定予定の「小中一貫校の授業づくりの手引」等も参考にしながら、川場村ならではの教育課程になるよう検討していきます。

生徒数増加に向けての取組は、まずは川場村小中一貫校基本構想に基づき、小中一貫校としての教育活動全体を充実させ、特色あるものにするのが大切です。新たな住宅地を造成するなど、子どもの数を増やすための施策を講じることも必要と思えますが、村外の方に「我が子を川場村で育てたい」と思っているためには、小中一貫校の内容を充実させるとともに、学びやすい魅力的な学校にすることが必要と考えます。

求められる教職員像の1点目は、子どもが大好きで、子どもが抱えている悩みや苦しみを我が事として捉え、解決に向けて

共に歩むとともに、子どもの喜ぶ姿や成長する過程にやりがいや生きがいを感じることでできる教師、2つ目は、自らの至らなさを自覚し、子どもの成長のために貪欲に学び、自分自身を磨き高めようと努力する教師の2つです。

**星野議員** 川場村で開校される小中一貫校も、全国から注目される子どもたち、それ以上に子育て世代である親の心に刺さるような選ばれる学校になるべきだと思います。人口減少問題にも効果のある学校づくりが必要だと思いますが。

**村長** 「じゃらん全国道の駅グランプリ2022」において、「道の駅川場田園プラザ」は1位になりました。このようなことから、よそから人が入ってくる要素が増えてくると思えます。加えて、令和7年4月開校の小中一貫校が特色ある教育を展開することにより、川場村を子育ての最適の場所にしていくればと思っております。このことを重点としてこれから検討していきたいと思えます。

**教育長** 小学校と中学校が、ただ一緒にあっただけでは何の特色もない学校になって

しまいきますので「授業を変え、教え方や学び方を変えていく」という強い思いで準備を進めていきます。

**星野議員** これからは学び続けることが必須の時代に入ります。生涯学習で全国の大人の学び場として、中学校の跡地利用も考えられるかもしれませんが、また、村内外の有識者を招聘して準備会を作り、準備を進めた方がよいのではないのでしょうか。

**村長** 小中一貫校になりますと、当然、中学校が空きますが、耐震も行ってあるので有効活用していければと思っております。

**教育長** 開校に向けて全力で準備を進めますが、授業改善やどのような教育にしているかなど、そこから再スタートしなければならぬと考えています。いろいろな方々の力を借り、川場村ならではの教育の実現や、改善を加えた授業が川場の教育文化となることを目指して、川場村としての教育文化を築きあげる、創り続けるという姿勢でいきたいと考えています。



日高エゾシカ総合センター

## 川場村議会 視察研修

### ～行政視察報告～

#### ◆ 視察の期日

令和4年9月16日(金)

#### ◆ 視察の場所

北海道新冠郡新冠町

### 有害鳥獣の有効活用

利根沼田地域では、熊や猪等による農作物等の被害が増加しておりますが、猟友会による全面的協力で被害が最小限に抑えられております。しかし、駆除された鳥獣は食用利用としての価値が限られているのが現状であります。そこで有効活用として、何かできないかと模索するなかで、ジビエ(食肉加工・副産物)として、先進地である「日高エゾシカ総合センター」を視察し、ジビエ活用のノウハウを担当者から指導いただきました。

川場村を含む近隣市町村では、利根沼田地域定住自立圏の形成に関する協定書を策定しております。村議会では今回の視察を基に、これらの有害鳥獣対策は市町村の枠をこえ、地域住民の安心・安全を図る計画を広く策定し行動力の強化を促進して参ります。

(川場村議会議長 角田文雄)



施設内の状況

## 議会の動き

### 8月

- 5日 川場村民生委員推薦会
- 10日 利根郡町村議員・議会事務局長研修会
- 22日 利根地方総合開発協会理事・代表幹事合同会議  
利根沼田学校組合議会定例会
- 25日 議会運営委員会  
議員の定数及び報酬調査特別委員会
- 29日 後期高齢者広域連合議会定例会
- 31日 国民健康保険運営協議会  
介護保険運営協議会  
上下水道運営協議会

### 9月

- 5日 議会全員協議会
- 7日 第5回議会定例会(初日)
- 8日 決算審査特別委員会  
補正予算審査特別委員会
- 10日 川場小中学校合同運動会
- 14日 第5回議会定例会(最終日)  
議会広報特別委員会
- 15日～17日 議会視察研修
- 20日 慶祝訪問

- 28日 議員の定数及び報酬調査特別委員会  
議会運営委員会

### 10月

- 1日 かわば森のこども園運動会  
世田谷たまがわスカイランタン&ミニ花火フェスティバル
- 2日 小学校バンドフェスティバル西関東大会
- 3日 抜穂祭
- 4日 敬老会  
第6回議会臨時会
- 16日 世田谷区制施行90周年記念式典・記念イベント
- 17日 利根郡町村議会議長会定例会  
利根沼田広域市町村圏振興整備組合定例議員協議会
- 18日 川場村健康づくり推進協議会  
川場村第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会  
産業振興常任委員会  
議会広報特別委員会
- 19日 川場村老人クラブ連合会グランドゴルフ大会
- 22日 学校林防火線手入れ
- 24日 議員の定数及び報酬調査特別委員会
- 26日 群馬県民スポーツ大会利根郡選手団結団式
- 27日 群馬県町村議会議長会理事会



飯館村役場

## 産業振興常任委員会 視察研修

### ～行政視察報告～

#### ◆ 視察の期日

令和4年7月21日(木)

#### ◆ 視察の場所

福島県飯館村

### 飯館村の震災後の産業復興

飯館村は、平成23年3月発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故により、全村民6千4百人が村外避難した。2021年2月現在で5千259人。しかし、その数は村に住民票を置いているだけで、村外に住んでいる人がその大半だ。帰村率は2割ほどで実際に村内で暮らしているの1千4百人程度である。

飯館村は、地方の農村が元々抱えていた諸問題に加え、放射能汚染やそれに伴う避難によって人口が更に激減し、村はより進行した問題を一気に対応しなければならぬ。

飯館村の諸問題の解決方法や取り組む姿勢が、川場村にとって参考になると考え委員会視察を行った。

### 飯館村 農の再生に向けて

農業の復興計画は、

- ・ 第1段階 避難先での営農再開・継続支援
- ・ 第2段階 避難先での営農者を村内営農に向けて支援
- ・ 第3段階 農業復興組合の設立
- ・ 第4段階 飯館村営農再開ビジョンの提示

村は現在、営農再開ビジョンをもとに「農地を守る」「生きがい農業」「なりわい農業」「新たな農業」の4ステップに分けて支援。「やる気」を誘因する施策を展開する。また、村内外からの新規就農者も現れ、再生の歩みを進めている。

### 飯館村ライスセンターおよび自動ラック式低温倉庫

令和3年4月に完成した同施設を現地視察した。水田農業の中核施設となるため、福島再生加速交付金などを活用し、総事業費約17億4千万で整備された。同施設の総処理量は1万6千俵(水稲作付面積2百ha)。自動ラック式低温倉庫でのコンピューター制御による玄米の在庫管理が行えるなど最新鋭の設備である。

(産業振興常任委員長 星野孝之)



飯館村ライスセンター

# うちの子も、よその子も川場の子 川場の子どもは川場の宝 だからみんなで育てましょう

地域学校協働活動推進員

大根田好子さん

吉野さゆりさん



向かって右 大根田さん・左 吉野さん

みなさんこんにちは。地域学校協働活動推進員の大根田好子、吉野さゆりです。私達は高校の同級生です。卒業後それぞれ進学、就職、結婚し家庭をもちました。吉野は実家で、大根田は川場村へ18年前に移住。そして再会しお互い3人の子どもの母親として子育てを楽しんできました。現在は子育てにもゆとりができたかなと感じています。

私達の活動は、小中学校の授業のボランティアのコーディネート、ネットワークづくりです。今年度から「川場村子ども応援隊スマイル」を立ち上げ、「楽しく穏やかに自分のことができることを隙間時間に」をモットーにボランティアを募集しました。既に多くの方々に家庭科、体育の授業、遠足の引率などに参加して頂いています。7月からは登校見守り隊として70人以上の方が関わってくれています。

ボランティアさんから「学校という少し敷居が高く感じられ緊張しました。教室に入ってみると子ども達は素直で楽しかったです。」「作業をしながら地域の方とも交流ができとても良い時間を過ごせました。」「子ども達と一緒に何か出来る元気をもらえますね。」など感想をもらえたことは、これからもっと学校と地域が近くなり知ることができ、お互いがパートナーになれる第一歩だと感じました。

突然ですが、みなさん今夢中になっている事ありますか？ アイドル、宝塚、アニメ、ユーチューバー、スポーツ選手。時間を忘れ夢中になっている自分、応援している時の自分。私ってこんなにパワーがあったんだって思いませんか。そのパワーを川場村の子ども達のために少しわけてあげてください。私達は地域パワーと子ども達、学校を結び付けたいと思って活動しています。

「うちの子も、よその子も川場の子、川場の子どもは川場の宝。だからみんなで育てましょう。」川場村の大人みんなで川場の子どもを育てて行きましょう。明るい川場村の未来のために。

## お知らせ

### 議会を傍聴してみませんか



次回定例会は12月上旬です  
むずかしい手続きなどは不要です。傍聴人入口で名前と住所を記入していただくだけです。

問 川場村役場 議会事務局  
52-2111

川場村のホームページには議会のページを設けています。  
議会広報や議会会議録を見ることが出来ます。  
(川場村図書室でも閲覧できます)



## 編集後記

紅葉の森を抜けると一面畑が広がっていた。ふと横に目をやると何台もの車が畑に入っている。車を止めてみるとトラクターの音が響き、どうやらコンニャク芋の収穫に追われているようだ。もうそんな季節になったのかな。しばらく車で走ってたら、リング畑の中にも数台の車が止まっている。車を止めてみると「味見をしてみかい」と顔なじみの人が1個のリングを差し出してくれた。かぶりついでみると、秋の味覚が口の中に広がってきた。短い川場の秋を楽しんだ数時間だった。



(編集委員長)

丸山敏雄

## 議会広報編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 丸山 敏雄 |
| 副委員長 | 津久井俊雄 |
| 委員   | 黒田まり子 |
| 委員   | 角田 宣治 |
| 委員   | 新木 敏郎 |